

研究のご説明

CyberKnife を使用した中心性肺腫瘍および縦隔腫瘍に対する放射線治療は非常に有効な治療法の一つですが、通常は金属マーカーの挿入が必要であり、出血や気胸といった合併症のリスクを伴います。そこで当院では、金属マーカーを使用せずに、代替として近接する気管支を利用した新たな追跡方法を考案しました。本研究では、中心性肺腫瘍および縦隔腫瘍に対して CyberKnife 治療を行った患者さんの CT 画像および治療ログファイル (Logfile) を用い、後ろ向き研究 (過去の治療データを用いた解析研究) を実施します。

通常、このような後ろ向き研究では個別の同意取得を省略することが認められており、代わりに研究内容を公開し、患者様が拒否 (オプトアウト) できる機会を設けることが必要とされています。

本研究への利用を望まれない場合は、本書面の末尾に記載しております連絡先までお知らせください。

【研究の概要】 研究題名 : 気管・気管支追跡法を使用した中心性肺腫瘍及び縦隔腫瘍の臨床評価

研究期間 : 倫理委員会承認日から 6 か月

実施責任者: 春日居総合リハビリテーション病院 放射線科 鈴木俊博

【対象となる方】 2022 年 1 月から 2022 年 5 の間にすでに春日居総合リハビリテーション病院で中心性肺腫瘍及び縦隔腫瘍に対する定位放射線治療を受けた方。

【研究の意義】 中心性肺腫瘍及び縦隔腫瘍に対する放射線治療で、当院で考案した気管支を利用する方法であれば、金マーカーを挿入する必要がなく低侵襲で行えると考えています。

【研究の目的】 気管支を使用して治療を行ったデータを解析し、有用性を評価する。

【研究の方法】 過去の治療前及び治療後の CT と治療ログファイルを使用し解析を行います。 および発生本研究は、当院の倫理委員会の承認を得ております。

【費用について】 新たにご負担いただくことはありません。

【予測される結果(利益・不利益)について】 該当する方の現在・未来の治療結果には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、不利益をこうむることはありません。

【個人情報の保護について】 解析にあたっては、個人情報は匿名化し、その保護には十分配慮します。学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

【データの二次利用について】 本試験で得られたデータについては、倫理委員会の審査を経て承認された場合に限り、個人識別情報とリンクしない形で二次利用することがあります。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡下さい。

【問い合わせ等の連絡先】 春日居総合リハビリテーション病院・放射線科 鈴木 俊博

〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府 436 TEL：0553-26-6661